

中国横断自動車道 ^{ひめじ とっとり} 姫路鳥取線

中国横断自動車道姫路鳥取線は、姫路市を起点に兵庫県・岡山県・鳥取県の3県を結び鳥取市に至る、延長約86kmの国土開発幹線自動車道です。このうち、中国縦貫自動車道から鳥取市を結ぶ佐用JCT～大原(西粟倉)間及び智頭～鳥取間(合計約43km)は、新直轄方式により整備しています。

平成20年度は佐用JCT～大原(西粟倉)間の改良・橋梁・トンネル工事推進及び、智頭～鳥取間の改良・橋梁・舗装工事を、智頭～河原間について平成20年度の供用を目指します。

工事進捗状況

H20.4撮影

智頭～鳥取間 鳥取市河原町(河原大橋付近)

H20.4撮影

佐用～西粟倉間 美作市(中西橋付近)

※事業中箇所のIC名、橋梁名については、全て仮称です。

期待される整備効果

- ・鳥取県東部地域と山陽地域や京阪神方面との連携強化により、輸送・移動時間の短縮が図れ、産業・経済・文化・観光面での活性化が期待されます。
- 【鳥取市～関西圏:3時間20分→2時間30分(約50分短縮)】
- ・高次の医療サービスの享受など、緊急時における円滑・迅速な活動が支援されます。
- ・災害時等における、安全度・安心度の高い生命線となります。